



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号

(URL) <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

【報道用資料】

2007年7月23日

キャッシュレス時代に対応した電子マネー自動販売機

「シーモ タウン化構想」 札幌駅前を中心に500台設置

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市清田区 社長:角野中原)は、北海道におけるキャッシュレス化の動向を先取りしたシーモタウン化構想プロジェクトとして、札幌駅前を中心(北7条通りから南9条、東4丁目から西9丁目のエリア)にCmodeサービス¹に対応した自動販売機(愛称:シーモ)の設置活動を展開し、2007年6月30日現在で450台を突破いたしました。また、Cmodeサービスをご利用いただけるCmode会員も北海道で37,000人を超えました。今後は札幌駅前中心部で500台以上、全道で2,300台以上の設置を目指してまいります。

*

札幌駅前中心部という限られたエリアでの設置台数の規模は全国でも稀であり、既に多くのお客様から「仕事時に小銭が要らない」「会員になると便利でポイントもたまる」との支持を受け、シーモ自販機の一台中あたりの売上も従来機と比較して大きく増加しています。

当社は、日本コカ・コーラ株式会社(本社:東京都渋谷区 社長:ダニエル・H・セイヤー、)とともに全道に約55,000台設置してあるベンダー(自動販売機)を重要なチャネル・資産と捉え、ベンダーのソフト/ハード両面でのイノベーション(革新)を推進しています。その取り組みの一環として、小銭をつかわず、携帯電話をシーモにかざすだけでコカ・コーラ社の飲料が購入できるとともに、ご利用に応じたポイント獲得によるゲームや着メロの提供など“オトクさ”や“楽しさ”も兼ね備えたシーモ自販機の設置拡大に努めております。「Cmode サービス」を通じ飲料購入のフロー自体にエンターテインメント性を持たせコカ・コーラならではの楽しさをお客様に提供しています。今後は「Cmode サービス」に対応したベンダーを増やすとともに、他の電子マネーを順次取り込み、ベンダーでネットワーク化を目指して売れ筋商品の供給や各種情報提供を行ってまいります。また、シーモード自販機を活用したイベントやプロモーションを実施して、お客様サービスの更なる向上を目指してまいります。



当社は、これまで、北海道に提案し道民運動となった「子どもの安全を見守る運動」を推進するほか、自動販売機に住所表示ステッカーを貼付しています。また、災害時の飲料提供や災害対応型自販機による災害情報や防災情報などの配信について、北海道並びに各自治体と協定を締結するとともに、災害対応型自動販売機の電光掲示機能を活用して道路情報や地域情報を配信する「おしらせ道ねっと」の取り組みを国土交通省北海道開発局及び各自治体との協働で開始しています。あわせて、札幌方面中央警察署との協働により、電光掲示板付き自動販売機を通して防犯広報や事件情報を配信する「防犯ほっとインフォメーション」を展開しています。

当社は、「変化への挑戦～北の大地とともに～」をスローガンに、“さわやかさとうるおい”を提供し、地域社会に信頼され、ともに発展していくことを目指しています。これからも事業活動を通じて、地域社会に貢献してまいります。

* 1 Cmode サービス:

携帯電話と、専用のコンピュータユニットが組み込まれた自販機を連携させることにより実現したユニークな会員制消費者サービスで、携帯電話をシーモにかざすことによりキャッシュレスでコカ・コーラ社の飲料購入などが可能です。また、ご利用に応じたポイントプログラムやiモード上のサイト (Cmode コカ・コーラ)での着メロ・ゲーム購入など、“利便性”に加えて”オトクさ“や”楽しさ“も兼ね備えたサービスです。また、2006年10月からは、ドコモのおサイフケータイ®、「iD™」²によるポストペイ方式にも対応しています。

2 ケータイクレジット「iD」:

おサイフケータイを専用の読み取り端末にかざすだけでサインレスに買い物ができる決済サービスです。お客様は「iD」のマークが掲示されている店舗ならどこでもケータイ一つで買い物ができ、お支払いも事前の現金チャージを行う必要なくポストペイ(後払い)方式で、買い物することができます。

< 本件に関するお問い合わせ先 >
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
広報部 広報課:011-888-2091